



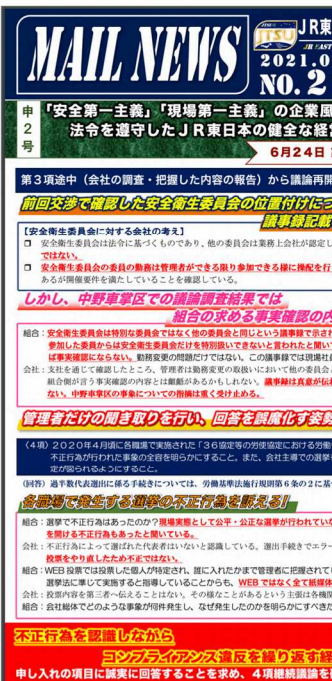
本部 2020年
申2号

「安全第一主義」「現場第一主義」の企業風土の再構築と法令を遵守したJR東日本の健全な経営を求める申し入れ

ようやく進む団体交渉も

不誠実な会社回答は続く

第3回団体交渉



本部 MAIL NEWS No. 278 より

〈4項〉2020年4月頃に各職場で実施された「36協定等の労使協定における労働者代表の選出」における選挙において不正行為が行われた事象の全容を明らかにすること。また、会社主導での選挙を実施せず、労働者間において代表決定が図られるようにすること。

〈回答〉過半数代表選出に係る手続きについては、労働基準法施行規則第6条の2に基づき、取り扱っているところである。

各職場で発生する選挙の不正行為を訴える!

組合：選挙で不正行為はあったのか？現場実態として公平・公正な選挙が行われていないと認識している。投票期間中に箱を開ける不正行為もあったと聞いている。

会社：不正行為によって選ばれた代表者はいないと認識している。選出手続きでエラーがあった。不正と言えませんが、投票をやり直したため不正ではない。

組合：WEB投票では投票した個人が特定され、誰に入れたかまで管理者に把握されてしまっているのが現状。会社が公職選挙法に準じて実施すると指導していることから、WEBではなく全て紙媒体で行うべきである。

会社：投票内容を第三者へ伝えることはない。その様なことがあるという主張は各機関の労働員当選に伝えていく。

組合：会社総体で...

「不正だが、やり直したから不正じゃない。」

不正だったけど、ちゃんとやり直したからいいでしょ？

…って開き直るとは!!

**不正行為を認むしなから
オンラインカンファレンスでの返答経営姿勢は許されない!**
申し入れの項目に誠実に回答することを求め、4項継続議論を確認し、3回目交渉を終了!

まるで片意地を張る子供か!?

申し入れから1年近く経っての団体交渉もさることながら、会社回答が申し入れ項目を受けた回答になっていないばかりか、職場現実を直視していない姿勢に不信感を抱く社員は大勢います!

起きている現実を認識しているなら、まず詫びた上で会社の考えを丁寧に説明すべきです。

会社は多数の職場で起きている現実を受け止め、
具体的対策を講じて是正せよ!